

# 主体性が未来を創る

大学と企業の連携で学生に主体的に学ぶ力を育成——。Future Skills Project研究会（理事長・安西祐一郎日本学術振興会理事長）は11月19日、東京都千代田区の明治大学で産学協同就業力育成シンポジウム2014「未来を創る『主体的な学び』を実践する」を開催した。「主体性」を育てる同研究会の講座の成果について発表、体験と気付きを重視した課題解決型授業の有用性を示した。

## 社会で活躍できる人材を

### 大学・企業連携で課題解決型講座

#### FSP研究会がシンポジウム開催

大学初年次の大学生に知識も技能を教えないまま取り組ませるため、1つめの課題にはほとんどのチームが成果を出せず企業から厳しく指摘される。2つめの課題には、その反省から深い議論ができるようになり、自分の課題をつかめるようになる、という。

失敗↓内省↓概念化↓実践という学びのサイクルを体験させる仕組みだ。失敗体験から、大学での学びの重要性を理解し、意欲を高めることを目指している。

同研究会では、高校用の講座についても検討しており、高校教育関係者からも注目を集め始めている。

同研究会 11-163-0411 東京都新宿区西新宿2-1-1、新宿三井ビルディング（ベネッセコーポレーション内）  
TEL03(53320)1301。

「答えのない課題に挑戦する力」などをもたらし、未来に生きる若者に必要な要素であることを強調した。

次に、わが国の高校生が進路に強い不安をもっていること、成績中間層の高校生の学習時間が極端に減ってきていること、大学生の週当たりの学修時間が5時間以下の者が7割を占めることなどの実態を示し、高校や大学の学びを変えていかなくてはならないことを訴えた。

40企業、20大学が参加する同研究会では、主体的な学びを育むことを目的とした「FSP講座」を開発し、11年度から大規模に実践してきた。講座は原則全14コマ。受講する学生は5〜7人でチームを組み、前半と後半で2つの企業から出された課題に取り組み、解決策を企業にプレゼンテーションする、というもの。

「自分の目標を自分で見いだして実践する主体性」の重要性が強調された。



「自分の目標を自分で見いだして実践する主体性」の重要性が強調された。

同研究会は、「社会で活躍できる人材をどのように育成すべきか」をテーマに、2010年に発足。企業人と大学人が問題共有し、主体性と応用力をもった学生を育てる方策を探り、「学生が本当に主体性を身につけられる場合、大学初年次の、しかも履修単位の取られる授業」として創り出し、実際に大学教育の場の

多極化する世界、急激化するわが国の生産年齢人口など激動するこれからの時代の予測を示すと

「文化・言語」問題に挑戦する力」などをもたらし、未来に生きる若者に必要な要素であることを強調した。

次に、わが国の高校生が進路に強い不安をもっていること、成績中間層の高校生の学習時間が極端に減ってきていること、大学生の週当たりの学修時間が5時間以下の者が7割を占めることなどの実態を示し、高校や大学の学びを変えていかなくてはならないことを訴えた。

40企業、20大学が参加する同研究会では、主体的な学びを育むことを目的とした「FSP講座」を開発し、11年度から大規模に実践してきた。講座は原則全14コマ。受講する学生は5〜7人でチームを組み、前半と後半で2つの企業から出された課題に取り組み、解決策を企業にプレゼンテーションする、というもの。

「自分の目標を自分で見いだして実践する主体性」の重要性が強調された。